

農業の知識や技術を習得



J A筑紫は、J A物流センターで第9期ちくし農業塾開講式を開き、11カ月間に及び講義がスタートしました。

面接で選ばれた9人の塾生は、習得した知識や技術を生かし、J A直売所の出荷者や生産部会の一員となる販売農家を目指します。

式には、行政関係者やJ A役職員など14名が参加。塾生は1人1人抱負を述べました。

白水清博組合長は「講義や実習を通して経験を積み、今後は私たちと一緒に農業を頑張ってもらいたい」と塾生に激励を贈りました。

「博多和牛」 多くの人に知ってもらいたい



博多和牛販売促進協議会の女性部会は、7月2日～16日のうち7日間、福岡市のヤフオクドームで、「博多和牛」の販売促進活動を行いました。この取り組みは、地域に根差した県の銘柄牛として認知度向上を図る目的。部会員は「博多和牛」のロゴが入ったお揃いのユニフォームを着て、来場客にステーキを販売しました。

部会員は「『博多和牛』をより多くの人に知ってもらい、地場産の食材としての魅力を広めたいです」と話しました。

ヘアメイクアップ講習会



フレッシュミズは、「フレッシュミズ統一学級」として本店でヘアメイクアップ講習会を開催。

大野城市のサロン「S・T Beauty」の枝尾優子さんを講師に招き、ヘアセットやメイクについてアドバイス。参加した女性部員は、自分に合ったメイク方法や、髪の長さにあったセットのやり方を熱心に質問しました。講習終了後、「今日の講習を受けてとても勉強になりました。ぜひこれからも活用したいです」と笑顔で話しました。

稲作の適正な栽培管理を呼びかける



ＪＡ筑紫は、管内５９カ所で、６月２７日～７月１８日まで９日間の日程で、２０１９年度稲作中間管理講習会を行いました。

太宰府市水城地区では、組合員とＪＡ職員など１３名が参加しました。気象と生育状況を踏まえた栽培管理や、病害虫対策などをＪＡ営農生活部職員が説明。参加者は、真剣な表情で資料に目を通しながら説明を聞き、水の管理などについて質問しました。

営農生活部農産課の職員は「これからの作業を安全に行い、高品質な米づくりに努めてほしいです」と話しました。

夏芽アスパラガスの出荷規格を確認



ＪＡ筑紫アスパラガス部会は１８日、ＪＡ物流センターで部会定例会を開きました。目合わせを行い、出荷規格や基準などについて部会員で話し合いました。部会員、ＪＡ農業振興課職員等１１名が参加しました。

参加した部会員は「終盤まで徹底した管理を行い、高品質なアスパラガスを出荷していきたいです」と意気込みます。

夏芽アスパラガスの生育は、雨が少なく遅れていましたが、現在はおおむね順調。今後も病害虫防除の徹底し、収量増加を図ります。

ＪＡ筑前あさくらの視察受け入れ



ＪＡ筑紫女性部は７月２５日、本店でＪＡ筑前あさくら女性部の視察を受け入れ、意見交換会を行いました。ＪＡ筑前あさくらからは３４名、ＪＡ筑紫は１４名の部員と役職員が参加。

部員の減少や、若い世代の加入が見込めないことなど、それぞれの女性部が直面している課題を熱心に話し合いました。

参加したＪＡ筑紫の部員は「様々な取り組みを聞き、良い刺激になりました。この会で出た意見を参考にして、より一層女性部活動を盛り上げていきたいです」と話しました。

栄養満点の料理で夏を乗り切る



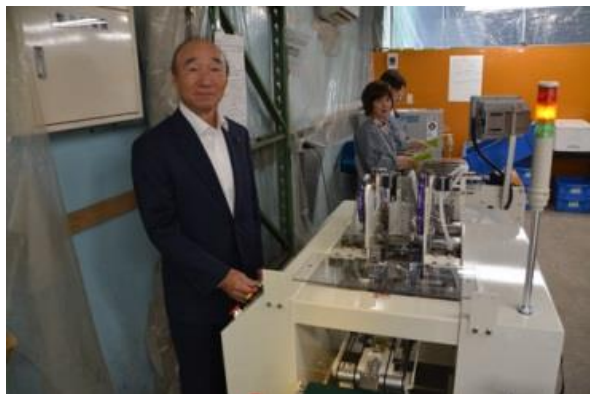
JA筑紫女性部は、2019年度夏料理講習を、管内9カ所で行いました。暑い夏を健康的な食事で乗り切ろうと毎年企画しています。

JA筑紫駅前支店で行われた講習会には、女性部のメンバー21名が参加し、JA生活福祉課職員が調理手順を説明。部員達はメニューを分担し手際よく調理を進めました。

今回のメニューは、女性部が薦めているAコープマーク品をふんだんに使った「なすそうめん」や「チュロス」など6品。栄養もボリュームも満点で夏にぴったりのメニューです。

出来上がった料理を試食した部員は「夏野菜を使った美味しいものが出来ました。ぜひ家でも作ってみたいです」と笑顔で話しました。

アスパラガス部会 新たに計量結束機を導入



JA筑紫アスパラガス部会は、アスパラガス共同選果場で計量結束機稼働式を開きました。部会員やJA役職員など約20名が参加。

新たに導入した計量結束機は、1時間に最大1800束を結束することができ、作業時間を大幅に短縮。効率的な作業により労働時間を削減することが出来ます。また、出荷規格の拡大に伴う所得増加も期待でき、生産意欲向上を図ります。

白水清博組合長は「この計量結束機を使い、さらに出荷の拡大に繋げてほしいです」と話しました。

子どもや家族連れでにぎわうふれあい夜市



安徳支店とゆめ畑那珂川店は26日、「集まれちびっこ！ふれあい夜市」を開きました。この取り組みはふれあい活動の一環。子ども達やその家族にJAを知ってもらおうと、今年初めて行い、地域の子供達や家族連れなど約1000名の来場客で賑わいました。

会場では子ども達に場内で使える子ども通貨を配布。開場前から並んでいた子ども達は、通貨を使い、露店に並んでいるかき氷や焼きトウモロコシ、メダカすくいなどを楽しみました。

また、じゃんけん大会や抽選会では、多くの来場客が参加し会場内は盛り上がりました。

来場客は「ずっと心待ちにしていたイベント。美味しいものを食べたり、抽選会に参加したりして思い切り楽しむことが出来ました」と笑顔で話していました。

「宝満とまと」消費拡大に向けて



宝満とまと出荷組合は27～28日の2日間、農産物直売所ゆめ畑太宰府店で販売促進イベントを行いました。

この取り組みは、筑紫野市本道寺で出荷組合が復活させた「宝満とまと」をPRし、多くの消費者に味わってもらおうと企画。組合員の家族が来店客に「冷しトマト」「トマトゼリー」などの試食をふるまい、おすすめの調理方法などを説明。試食を味わった来店客が、トマトを買う姿が多く見られました。

旬のアスパラガスを味わって



JA筑紫アスパラガス部会は、農産物直売所ゆめ畑筑紫野店で試食販売を行いました。

この取り組みは、旬のアスパラガスをPRし、多くの消費者に魅力を知ってもらおうと、部会員らが集まって定期的に行なっています。部会員が来店客に試食をふるまい、「アスパラガスの豚バラ巻き」などおすすめの調理方法を説明。試食を味わった来店客は、次々とアスパラガスを手に取り購入しました。

JA担当職員は「部会員自身が消費者に直接アスパラガスの美味しさと安全安心をPRすることができます。アスパラガスの消費拡大に向け、今後も取り組んでいきたいです」と話していました。

気持ちを新たに団結



福岡県農政連筑紫支部は、JA本店で第45回福岡県農政連筑紫支部 第10回福岡県農政協議会筑紫支部代議員総会を開きました。盟友や女性部員、青壮年部、JA役職員ら150名が参加。2018年度の事業報告や役員承認など全5議案が承認されました。19年度は、食料・農業・農村政策等総合農政の確立をめざす運動の展開など3項目を重点項目として活動していきます。